

## ⑥-1 林業・木材産業循環成長対策(高性能林業機械の導入)

### 広葉樹材生産も可能なクローラ式タワーヤードの導入による生産性の向上

#### 取組成果

- ◆ 傾斜地の広葉樹資源を含め従来より多くの資源の利活用が可能に。
- ◆ 林床のかく乱が抑制され、後継樹の早期の天然更新も期待。
- ◆ 「広葉樹のまちづくり」を進める飛騨市において、安定的な広葉樹材の供給に貢献。  
(広葉樹材の安定供給により、近隣地域からの広葉樹材需要を取り込むことで広葉樹の価値を向上させることに成功している。)

#### 事業概要

- ◆ 実施地：岐阜県飛騨市
- ◆ 事業実施主体：飛騨市森林組合
- ◆ 事業実施年度：R3
- ◆ 導入施設：クローラ式タワーヤード 1台

#### 取組のポイント

- ◆ 同地域の広葉樹資源は車両系システムによる搬出が困難な急傾斜地に多く作業道を必要最小限にする必要があること、また、伐採後の天然更新に必要な林床の土壌が保全されることが望ましいことから、架線集材が適している。
- ◆ 林地傾斜や樹種構成等の同地域の特性に適した架線集材機械を検討し、クローラ式タワーヤード導入を決定。
- ◆ クローラ式タワーヤードはトラック架装式に比べ、狭小で傾斜のきつい作業道を自走できるため、架線集材可能区域が拡大。

#### 取組内容

##### タワーヤードの導入による広葉樹材生産

- ◆ クローラ式タワーヤードを導入したことで、従来から保有している機械では生産が困難であった急傾斜地の広葉樹林分等において、必要最小限の路網開設により素材生産を実現。
- ◆ 導入したクローラ式とともにトラック架装式のタワーヤードを伐採地の状況に応じて使い分けることにより、架線集材が適した現場での生産性が向上するとともに、広葉樹材の生産量も増加。



【導入したタワーヤード】



【急傾斜地での施業】

## ⑥-2 林業・木材産業循環成長対策(森林資源保全対策)

### ナラ枯れ被害木の駆除

#### 取組成果

- ◆ ナラ枯れ被害初期において被害区域の最前線を早期に伐倒くん蒸処理を実施したことにより、被害拡大を防止。
- ◆ 事業を実施した1町3市は県境に位置しており、隣県に被害が拡大する恐れがあったが、防除効果により被害量が減少し、被害区域の拡大防止につながった。

#### 事業概要

- ◆ 実施地:秋田県八峰町、由利本荘市、仙北市、横手市
- ◆ 事業実施主体:八峰町、由利本荘市、仙北市、横手市
- ◆ 事業実施年度:R3

#### 取組のポイント

- ◆ 秋田県におけるナラ枯れ被害は、平成18年度ににかほ市(旧象潟町)で初めて確認され、その後拡大し、鹿角市ほか4市町村を除く20市町村で確認されており、被害量は令和2年度には1万6千㎡まで増加。
- ◆ 被害の発見が困難な奥地山林の被害区域最前線において駆除を実施し、被害拡大速度を鈍化させた。
- ◆ ナラ枯れ被害の拡大を防ぐため、森林組合等に委託し、早期に伐倒くん蒸処理を実施。

#### 取組内容

##### ナラ枯れ被害木の駆除

- ◆ ナラ枯れ発生地が奥地山林であり、搬出・焼却による駆除が困難であったため、現地において、被害木を伐倒、玉切り、集積し、全体をシートで被覆し燻蒸。

事業面積:8.37ha

被害材積:139.9m<sup>3</sup>

処理本数:172本



【ナラ枯れ被害地の様子】



【伐倒した被害木の燻蒸】